



第42回 東山再生フォーラム

テーマ：野生動物とともに生きる ～クマ・キツネと人との関係～

日時 令和8年2月15日（日）
13:30～15:40

場所 東山動植物園 動物会館

講演 『中部地域のクマと人との関わり』
岐阜大学 教育学部 准教授
橋本 操 氏

講演 『帰ってきた「ごんぎつね」
～知多半島におけるキツネを
象徴種とした環境保全活動～』

日本福祉大学 工学部 学部長／教授
福田 秀志 氏

報告 『東山動植物園再生プランの取り組み状況・
サバンナエリアの計画について』

東山動植物園 再生整備課長
中根 和之



申込方法・お問い合わせ

※申込方法をご確認の上、申込みください。

□申込方法 電子申請または往復はがき

○電子申請の場合（左のQRコードから参加者募集ページへリンクします）

東山動植物園公式ホームページ「新着のお知らせ」に掲載の
「第42回東山再生フォーラム参加者募集」のページに記載の
リンクより名古屋市電子申請サービスにて申込

○往復はがきの場合

参加者人数、参加者氏名、代表者電話番号、返信先のご住所を
往復はがきにご記入の上、以下の住所に郵送（1月29日必着）
〒464-0804 名古屋市千種区東山元町3-70
名古屋市 東山総合公園 再生整備課 あて

□申込期間 令和8年1月14日（水）から1月29日（木）まで

□定員 120名（応募人数が定員を超える場合は抽選となります）

□お問合せ 名古屋市 東山総合公園 再生整備課

電話 052-782-2111 FAX 052-782-2140（月曜日休園）

会場案内

東山動植物園 動物会館

地下鉄東山線 「東山公園駅」下車
3番出口より徒歩3分

※動物会館改修工事のため、
奥のレクチャーホール入口から
お入りください



地下鉄
東山公園駅
3番出口

※参加の可否は、電子申請時に登録済のメール、またははがきでお知らせします

※参加無料（高校生以上は別途入園料が必要です）



東山再生フォーラム 第42回

本市では、市民の皆様には昭和12年の開園以来親しまれてきた東山動植物園を「もっと身近に、もっと楽しく、自然とふれあえる場」にしていくために「東山動植物園の再生」を進めています。

この再生を進めていくにあたり、市民の皆様とともに考えていくため、「東山再生フォーラム」を開催しています。

テーマ：野生動物とともに生きる ～クマ・キツネと人との関係～

プログラム

13:30 開会（13:00開場・受付開始）

13:35 講演①『中部地域のクマと人との関わり』

岐阜大学 教育学部 准教授

橋本 操 氏

14:15 休憩

14:25 講演②『帰ってきた「ごんぎつね」

～知多半島におけるキツネを象徴種とした環境保全活動～』

日本福祉大学 工学部 学部長／教授

福田 秀志 氏

15:05 報告『東山動植物園再生プランの取り組み状況・サバンナエリアの計画について』

東山動植物園 再生整備課長

中根 和之

15:15 意見交換・質疑応答

15:40 閉会

講師紹介



橋本 操

岐阜大学 教育学部 准教授

東京で生まれ育ち、上野動物園や国立科学博物館を遊び場として育つ。
北海道の酪農学園大学へ進学、学部2年生の時にヒグマの胃内容分析等の実習を経験し、GISも用いながらクマ類の獣害とその対策に関する研究をするようになる。
2015年3月筑波大学大学院生命環境科学研究科博士後期課程修了。博士（理学）、専門は地理学。
2011年頃から長野県をフィールドに、ツキノワグマ等の大型哺乳類を中心に、地域住民の獣害対策や、獣害や野生動物に対する地域住民の意識、狩猟などの山間の生活文化などについて研究している。



福田 秀志

日本福祉大学 工学部 学部長／教授

1968年 石川県金沢市生まれ。
1997年3月 名古屋大学大学院農学研究科 博士後期課程修了（博士（農学））。
日本学術振興会特別研究員を経て、1999年4月に日本福祉大学赴任。
現在、日本福祉大学工学部建築学専修環境建築コース所属
2003年 日本林学会賞受賞 2022年 愛知県環境保全功労者表彰
専門は、森林保護学、環境工学。
日本福祉大学赴任以降、知多半島の里山に関する研究を中心に進め、とくに童話「ごんぎつね」ゆかりの地でキツネの生息状況や生態研究を進めている。その研究内容は、NHK「ダーウィンが来た」、日本テレビ「シューイチ」などにも取り上げられている。

参加申し込みいただきました個人情報（氏名、メールアドレス、電話番号など）は、当フォーラムの運営のために必要な範囲内で利用させていただきます。



©Nagoya City このチラシは古紙パルプを含む再生紙を使用しています